

まちの話題



地域の人々も祝福 思い出の母校で結婚式

三月二十四日、廃校となつた平山小学校で結婚式が行われました。

結婚式を挙げたのは、門田隆稔さん（土佐山田町曾我部川出身）、鹿取由紀子さん（香北町清爪出身）のお二人。隆稔さんの「母校

喜んでくれて、私たちもすごく嬉しい」と二人とも感激していました。

今夏から宿泊施設に生まれ変わる同校。懐かしい古里の校舎で新しい門出を迎えた二人に地域の人々から祝福されました。

の平山小で結婚式をあげたい」という思いに、地域の人々が協力して行われた式では、新郎が人力車に乗った新婦を伴って入場。校舎の中で神事が執り行われ、親族や友人、たくさんの方々の前で、二人は結婚の誓いを立てました。



人力車とともに登場した新郎新婦

青年団合同企画 物部川クリーンアップ



集まったごみを前に

香美市に二つある青年団、「香北町青年団」「土佐山田青年ボランティアサークルやいろ」が合同で、三月十八日に物部川山田堰付近の清掃活動を行いました。
当日は、土佐山田ライオンズクラブや香美警察署からも応援が駆けつけ、総勢三十人程の参加となりました。山田堰から町田堰付近へと歩きながら清掃活動を行った結果、トラック一台分のごみが集まりました。物部川がきれいになり、活動を通じて各団体がお互いに交流を深め有意義な一日となりました。二つの青年団は今後もこの清掃活動を続けたいと考えています。

第2回 物部川流域 こんなんやりゆう発表会

高知県、高知工科大学、物部川流域ふるさと交流推進協議会（会長 門脇樞夫市長）が主催し、物部川流域の諸団体の連携と県内主要河川間の交流、流域圏意識の醸成を目的に、三月二十一日に高知工科大学で物部川をめぐる各団体の発表会が開催されました。

はじめに、環境学習に取り組む楠目小四年生が班ごとにテーマをもって取り組んだ学習の成果を発表。小学生ならではの視点でとらえた「環境学習」に大人たちも感心していました。



◀楠目小児童が学習の成果を発表

地域花づくり奨励賞を受賞

地域で自主的に花づくりに取り組み、美しいまちづくりやうるおいのある地域づくりに貢献している住民や団体に贈られる県の『地域花づくり奨励賞』に香美市から次のグループ等が選ばれました。

◆山岡泰子さん、武内恵子さん、池内幸さん（土佐山田町北組西ほか）

よさこい高知国体を契機に始まった花づくりは、私財でプランターの買い替えや苗代、肥料代をまかない、地域内にある老人介護施設の通り沿いに、約一二〇メートル並べられた四季の花は、施設利用者や道行く人の心を和ませてくれています。

◆平山地区振興協議会

地元住民が、休場ダム建設の補償金を使って植え始めた桜は今では市内でも有数の桜の名所となり、また、平山親水公園に彼岸花やシバザクラなどを植えるなど、ダム周辺を四季折々

の花が楽しめる空間として整備してきました。

◆紫翠園（物部町庄谷相）

公文寛伸さんが、自宅周辺の畑に花を植え始め、その後も所有する山林を切り開いて多くの花木を植え、一年中花を楽しむことができる「山の中のお花畑」を整備しました。口コミで広がった紫翠園は、知る人ぞ知る花の名所となっています。



左から武内さん、山岡さん、池内さん

合併記念事業 植樹祭を開催



雨の中で作業となった植樹

三月二十四日、物部町の西熊光石で合併記念事業の最後のイベントとなる植樹祭が行われ、約六十人の参加者とスタッフが力を合わせ、五百本の桜の苗木を植えました。

当日はあいにくと雨の中の作業となりましたが、参加者らは「早く咲いたところが見たいねえ」と笑顔で、一本一本倒れないようにていねいに植えていました。

楠目小児童が 通学路の歩道橋を掃除

「汚れた歩道橋をキレイにしよう」と楠目小の児童が、通学路にある学校近くの二つの歩道橋とその周辺を掃除しました。

掃除は、同校各学年の代表者で組織する委員会が児童自らが発案したもので、六年生の芳川光佑さんと小松詩織莉さんが中心となって二十五人のそうじ隊を結成し、三月二十四日と二十六日に実行されました。児童らは、「四月に入っ



歩道橋周辺を掃除する児童

てくる新入生にも気持ち良く登校してもらえ」とキレイになった歩道橋を見てよろこんでいました。

大宮小学校 新校舎が完成

南海地震に備えた耐震化のため新校舎が建築された大宮小で、一期工事の完成を記念するセレモニーが三月二十八日に行われました。セレモニーでは、市長と教育長のあいさつの後、卒業した旧六年生も見守る中、関係者のほか新六年生となる児童代表らがテープカットを行い、完成を祝いました。

高知県産材を多く使った木の温もりが感じられる新校舎では、四月の新学期のスタートから、子どもたちの元気な声が響いています。



テープカットで完成を祝い